

未来を見据え 新たな決意で事業を推進



神奈川県内陸工業団地協同組合
理事長 歳原 博幸

組合員並びに関係各位の皆様、新年明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えになられた事、心からお慶び申し上げます。昨年は、日本にとって大きく変動した年でした。感染が拡大する新型コロナウイルス感染症に対し、2月にはワクチン接種を開始し、各自自治体による接種だけでなく大規模接種や職域接種も始まりました。

しかしながら、変異株の出現等により感染拡大はさらに進み、「緊急事態宣言」や「まんえん防

止等対策」が繰り返され、9月には感染者が累計150万人を超えました。こうした中、人流の抑制という観点から、在宅勤務・テレワークといった新しい仕事の仕方への変化が定着した一年でもありました。

社会情勢に目を配り 付加価値を高める

秋には国民の7割以上がワクチンを打ち終わり、その他の様々な対策が功を奏したか、11月には感染者数は日を追って減少し、経済活動が活発化してきております。また、1年延期された

さて、当組合の主要な活動ですが、昨年6月の通常総会では規模縮小・時間短縮による開催とし、例年多くのご来賓を招いて盛大に開催する新年の賀詞交換会は、遺憾ながら中止とさせていただきます。

他の事業につきまして、中止・先送りした事業が数多くありますが、11月にはコロナ禍でも必要となる共同防災訓練を多くの組合員の皆様のおかげのもと実施しました。また、組合会館建設に対する支援や団地内水路の



だんち
だより

第97号

2022年(令和4年)1月15日発行



謹賀新年

「東京オリンピック」が開催され、多くの日本選手が活躍し、海外でも大リーグでの大谷選手、ゴルフマスターズでの松山選手なども国民に感動を与えてくれました。

年末にかけて「オミクロン株」による感染など、新型コロナウイルスにはまだまだ油断できない状況が続いています。新しい年の始まりにもう一度気持ちを引き締め、新型コロナウイルス感染拡大防止に意を用いてまいりたいと思っております。

年頭のご挨拶

神奈川県中小企業団体中央会

会長 森洋

明けましておめでとうございます。お健やかに新春をお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は振りかえりますと、3度にわたる緊急事態宣言が発出され、感染者数を気にしながら事業を展開する年でありましたが、「東京オリンピック」が開催され、日本選

手のメダル獲得数が過去最高となったことや、大谷選手のMVP獲得、ノーベル物理学賞に真鍋淑郎氏が選ばれるなど日本人の活躍が目立った1年でもありました。

中小・小規模事業者の景況は、相次ぐ行動制限等の影響により宿泊・飲食業などを中心に極めて厳しい状態が続いておりますが、10月の宣言解除後新規感染者数が低位で推移し、国内経済活動

の再開が進んでおります。しかし、「オミクロン株」の感染が広がったこと、心よりお慶び申し上げます。その一方で、海外物流の逼迫や新興国での感染拡大によるサプライチェーンの悪化、半導体不足、原材料の高騰などに伴い、製造業を中心に先行き不透明な状態が続いております。

また、昨年は「感謝のゆうべ」には岸田内閣総理大臣のご臨席をいただき、大変盛会のうちに終えることができました。改めて、神奈川県大会の開催にあたって会員並びに関係者の皆様からいただいたお力添えに、厚く御礼申し上げます。ポストコロナ、ウィズコロナの「変革の時代」にあつて、中小・小規模事業者が持続的な発展を目指していくために、相互扶助の精神に基づく組合等連携組織の役割はますます重要となっております。



また、昨年は「感謝のゆうべ」には岸田内閣総理大臣のご臨席をいただき、大変盛会のうちに終えることができました。改めて、神奈川県大会の開催にあたって会員並びに関係者の皆様からいただいたお力添えに、厚く御礼申し上げます。ポストコロナ、ウィズコロナの「変革の時代」にあつて、中小・小規模事業者が持続的な発展を目指していくために、相互扶助の精神に基づく組合等連携組織の役割はますます重要となっております。

また、昨年は「感謝のゆうべ」には岸田内閣総理大臣のご臨席をいただき、大変盛会のうちに終えることができました。改めて、神奈川県大会の開催にあたって会員並びに関係者の皆様からいただいたお力添えに、厚く御礼申し上げます。ポストコロナ、ウィズコロナの「変革の時代」にあつて、中小・小規模事業者が持続的な発展を目指していくために、相互扶助の精神に基づく組合等連携組織の役割はますます重要となっております。

- 朝日機材株式会社 (令和3年6月30日)
- トールエクスプレスジャパン株式会社 (令和3年9月30日)
- 株式会社杉孝 (令和3年6月30日)
- 日軽物流株式会社 (令和3年6月30日)
- 堀硝子株式会社 (令和3年9月30日)